

施策評価表

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日(課長等)	元 年 月 日
2次評価日(部長等)	元 年 月 日

1 施策の概要

施策名	「第4次総合計画」に沿って整理をした施策名		コード	
この施策の主な内容(細施策)	岡谷市が目指す将来像(将来の状態)で、「第4次総合計画」の各項目(施策)の要旨			
第4次総合計画におけるこの施策の目的				
担当部課	部		課等	
			作成者	

●施策の実施内容 (D0)

2 施策指標の達成状況

* 第4次総合計画(最終年度:平成30年度)における目標指標の達成状況、第5次総合計画(前期基本計画:令和5年度)における目標値

施策指標名	単位	28年度	29年度	30年度		元年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値(第5次)
① 指標説明						-	
② 指標説明						-	
③ 指標説明						-	

施策の目的(項目1)がどの程度達成されたか、その成果を分かりやすく示すための数値。

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位:千円

	28年度	29年度	30年度	元年度(予算)
直接事業費				
人件費				
合計コスト	0	0	0	0

●施策の評価 (CHECK)

4 施策の現状評価

* 30年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調/不調の判断

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み/弱みとなる要因

岡谷市の強み	
岡谷市の弱み	

5 今後の外部環境の変化

* 令和2年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	31年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因を記入する。
不利に働くもの	

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 令和2年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	岡谷市の強み／弱み(項目4)、外部環境の変化(項目5)をこの表に当てはめ、施策の置かれている状況に沿った対処方法を検討する。
見直しを行う分野	

●令和2年度の優先度

* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	28年度	28年度			
							29年度	29年度			
							30年度	30年度			
		元年度(予算)	元年度(予算)	元年度(予算)							
1				#N/A							-
2				#N/A							
3				#N/A							
4				#N/A							
5				#N/A							
6				#N/A							
7				#N/A							
8				#N/A							
9				#N/A							
10				#N/A							